

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) チュウオウダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) ミウラゼミ
中央大学	商学部	三浦ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ヒョッコリハン	フリガナ) ナカザワ リョウ	6	無	
ひよっこり班	中澤 諒			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

目に見えない障害 働きやすい社会を作る

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究では、精神障害者にとって働きやすい環境を作ることで、雇用状況の改善がなされることを目的とする。

平成 30 年 4 月より障害者雇用促進法の一部が改正され、法定雇用率の段階的引き上げや法定雇用率算定基礎に精神障害者が加えられるなど、精神障害者の方にとって働きやすい環境になってきている。しかし、精神障害の症状は目で見ることができず、雇用するのが難しいという点や障害者自身が自分の症状について深く理解していないという点から企業と障害者のミスマッチが発生している。

そのため精神障害者の自己理解を深め、企業とのベストマッチをさせることが必要だと感じた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

障害とは大きく分けて身体障害・知的障害・精神障害に分類される。精神障害とは精神疾患のため精神機能の障害が生じ、日常生活や社会傘下に困難をきたしている状態のことである。精神障害者の数は年々増加傾向にあり平成 28 年版障害者

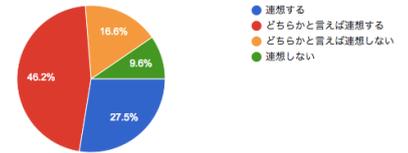
白書・内閣府基本的統計によると 3,924,000 人の精神障害者が存在し、これは国民の約 100 人に 3 人が精神障害者であるということの意味する。

そのため大きな労働力であると考えられることもできるが、今まで法定雇用率の算定基礎から除外されていたことや、目に見えないため症状を理解しにくいなどの理由から、精神障害者の雇用率は身体障害者の約 70%や知的障害者の約 20%と比べて低く、5%未満である。また、平均勤続年数も身体障害者の 10 年や知的障害者の 7 年 9 ヶ月に対して 4 年 3 ヶ月と短くなっている。これらの数値からみると精神障害者にとって働きにくい社会であり、世の中の精神障害者に対する理解がないことは明白である。

精神障害は症状が個人ごとに異なるが、病名で判断されることが多い。実際に障害に関するアンケートをとった結果、「障害だからできないことがある」と答えた人 7 割以上を占める（右図参照）。また、障害者就労支援を行なっている企業へインタビューをする中で、様々な企業の人事でさえ精神障害者を病名で判断し、その人自身を理解しようとしていないという意見をいただいた。このように学生だけではなく、社会人でさえ偏見を持ち精神障害者に接している状況である。

障害であると告げられた時に「この人は障害だから〇〇ができない」ということが連想されますか

541 件の回答



しかし、この問題は雇用側にのみ原因があるのではなく、精神障害者側にも問題がある。自分の症状を理解し、相手に伝えることが欠如しているのである。自分の症状を理解しなければ、相手には伝わらず、面接という短い時間では当然理解してもらえない。そこに企業とのミスマッチが発生する。

3. 研究テーマの課題

現在、精神障害者にとって働きにくい環境である。働きにくい要因をアンケート調査や企業へのインタビューなどにより分析していく中で、大きな要因は障害者自身の自己理解の浅さと、雇用側の障害に関する理解のなさにあると判明した。

加えて、現在精神障害者をマネジメントできる人材が不足していることも課題として挙げられる。

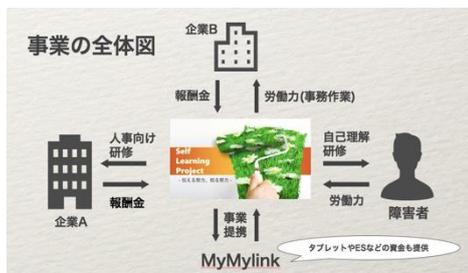
4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の課題を解決するために、Self Learning Project を提案する。提案の内容は精神障害者に自己理解をしてもらい、企業に特性を伝えることでベストマッチを生むというものである。自己理解、就職活動、採用という流れである。

自己理解では 1 ヶ月間フルタイムで事務作業を体験してもらい、毎日その日の状態をタブレットに記入する。記入内容は特性チェックシートというものを活用し、生活面・健康面・仕事の準備・実務能力・モラル面・対人関係の 6 項目の各問いに答えてもらう。それを 1 ヶ月続けることで特性や 1 ヶ月の推移、1 ヶ月のまとめがデータとしてわかる。推移やまとめを可視化することで体調を崩すきっかけや回復する要因、自分の苦手である分野などが一目でわかるようになる。そのデータとともに、配慮して欲しいポイントや自己 PR などを様々な企業に送る。雇用側はそのデータから自社に合った人を選び、面接をする。その結果採用するというものである。

加えて、この提案では企業の人事向けの 1 ヶ月研修も同時開催する。精神障害者を雇用しようと考えている企業の人事に、事務作業をする精神障害者をマネジメントしてもらうことで、接し方を知り、理解を深めることができる。

結果として障害者が働きやすい社会になると考えられる。



Self Learning Project 全体図

Self Learning Project 流れ

特性チェックシート

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

現状の分析を行う上で、株式会社富士電機フロンティア川崎営業所に対する電話インタビュー、株式会社スタートライン MyMylink 事業チームとパーソルグループ パーソルチャレンジ株式会社への訪問インタビューを行った。

また、株式会社スタートライン MyMylink 事業チーム 事業責任者藤野様と電話やメールによりご意見をいただき、事業としての実現可能性を高めて行った。

6. 結果や今後の取り組み

提案の結果、株式会社スタートライン MyMylink 事業部との提携を検討中で、実現可能性有りとのことをご意見をいただいている。さらに今後の展望として、

- ・「Self Learning Project」を通じて、精神障害者雇用のミスマッチを無くす
- ・自己理解、雇用側の障害に関する理解がなされることで、離職率を下げる
- ・精神障害者をマネジメントできる人材の育成が挙げられる。

7. 参考文献

- ・発達障害の種類・症状・特徴 Allabout 健康・医療 2018/8/16
<https://allabout.co.jp/gm/gc/302571/>
- ・障害の範囲 2018/8/16
https://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/10/dl/s1031-10e_0001.pdf
- ・いろいろな精神障害の種類について 2018/8/16
<http://kaigo.mayap.net/igaku/igaku6.htm>
- ・わたしのフクシ。 2018/8/16
http://watashinofukushi.com/?page_id=44
- ・LICALITA 仕事ナビ 2018/9/3
<https://snabi.jp/article/17>
- ・LITALICO ジュニア 2018/8/16
<https://junior.litalico.jp/about/hattatsu/ld/>
- ・専門家が教える障害者施設ナビ 2018/8/25
<https://sp-facility.net/seisinsyougai/>
- ・厚生労働省ホームページ 2018/9/5
<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000068921.html>
- ・障害者の就職活動を支える応援サイト 2018/9/5
<http://syougaisya.biz/saiyousarenikui/>
- ・障害者雇用ドットコム 2018/9/5
<https://syougaisya-koyou.com/establishment-workplace-408/>
- ・NHK ハートネット 福祉情報総合サイト 2018/9/5
<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/18/>
- ・千葉県ホームページ 2018/9/5
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/iken/h17/sabetsu/roudou.html>
- ・保健医療学雑誌 5 2018/9/5
<http://www.s-ahs.org/jahs/JAHS%20Vol5%281%29%20002.pdf>
- ・障害年金申請サポート 咲くやこの花相談室 2018/9/5
<https://sakuya-shougainenkin.com/disability-work#i-4>
- ・HUFFPOST 2018/8/16
https://www.huffingtonpost.jp/maho-takase/developmental-disability_b_9466582.html
- ・ICD-10（国際疾病分類）第5章精神および行動の障害 2018/8/25
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000011ncr-att/2r98520000011nq2.pdf>

・よく耳にする精神病～ストレスが原因となる病気・種類・特徴的な症状まで～ 2018/8/25

<https://karadanote.jp/23306>

・目に見える障害と目に見えない障害。発達障害への理解の難しさ。 2018/8/16

<https://ananweb.jp/anan/96379/>

・精神障害者・発達障害者など「目に見えない障害者」は困ってる 2018/8/16

https://だいちゃん.com/entry/2015/03/10/invisible_troubled/

・精神障害ってなんだろう？ 2018/8/16

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/20110219-kenri/20-23.pdf>

・東京労働局 法定雇用の引き上げ 2018/9/16

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-hellowork/list/shibuya/jigyounushi/news_topics_2/_121660.html

・就労準備性チェックシート 2018/9/16

<http://www.city.osaka.lg.jp/kenko/cmsfiles/contents/0000006/6081/syurou.pdf>

http://www.rehab.go.jp/ddis/?action=common_download_main&upload_id=1414

・障がい者のための求人情報サイト | MyMylink(マイマイリンク) 2018/9/2

<https://mymylink.jp/>

・パーソルキャリア - PERSOL CAREER (旧インテリジェンス) 2018/9/2

<https://www.persol-career.co.jp/>

・障害者の求人・転職なら DODA チャレンジ 2018/9/2

<https://doda.jp/challenge/>

・株式会社フロンティア 2018/9/2

<https://www.frontier-coltd.co.jp/>

・障害者手帳とは？種類ごとの申請方法と受けられるサービスを一挙にご紹介 2018/8/25

<https://h-navi.jp/column/article/761>

・障害者白書 2018/8/24

<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h29hakusho/zenbun/pdf/ref2.pdf>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合は同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**